

自分の人生を自分で設計・実現し、人生の価値を高める画期的手法

『人生創造講座』のご案内

「人生100年時代」を迎えても、ビジネスパーソンの皆様は、日々の仕事に忙殺されて「自分の人生のあり方」について真剣に考える機会がないのが実情です。また機会を持たたとしても、人生をどう捉え、どう実行したらよいかの方法も分からないのが普通です。

そこで(株)資産工学研究所では、この「人生のとらえ方」と「自分の人生の設計方法」を修得できる「人生創造講座」を2回開催します。本講座を活用して、ぜひ自分の人生の成功にお役立てください。

講座の狙い

- 「人生と意義と取組み姿勢」を説明することから始めます。
- 「人生の全体像」を明確に定義する「人生のフレームワーク」を説明します。(裏面ページ参照)
- 「なりたい自分」や「やりたいこと」を着実に実現できる「潜在意識」の活用法を紹介しします。
- 「自分の人生設計」ができる「設計シート」により、テーマ別に具体的に設計する方法を紹介しします。
- 「設計した内容」を確実に実現できる方法を個人指導しします。

講座の特長

- 坂本所長のナレッジを集大成した「人生創造ガイドブック」をテキストとして使用しします。
- 書籍のエッセンスを2ページにまとめた「ナレッジワークス(人生編)」でテーマ別に深掘りしします。
- 「坂本所長個人の設計内容」を惜しみなく紹介し、具体的な設計イメージを持っていただきます。
- 個人別の設計内容をフォローし、より良い設計内容になるよう指導しします。
- 人生成功のための各種秘訣についてのいかなる質問に対しても的確な回答をします。
- 各人の頭の中身が整理され、人生に対する自信が湧いてきます。

「人生創造講座」の参加要領

- 開催日時 : 3月4日(日) 14:00-19:00、3月11日(日) 14:00-19:00(含懇親会)
アフタフォロー(1ヵ月後、日程別途): 各人の設計書のレビュー会
- 会場 : (株)資産工学研究所 半蔵門線半蔵門駅3b出口1分(下記HP参照)
- 費用 : 2万円 + お布施(自分が価値を認めた分)または差し入れ(酒、食べ物等)
- お問合せ先 : (株)資産工学研究所 : 03-3535-5281 HP : <http://www.iire.co.jp>
坂本携帯 : 090-2741-6046 メール : sakamoto@iire.co.jp

講師プロフィール: 坂本善博

- 1972年、東京大学経済学部卒業。富士通株式会社入社。システムエンジニアとしてIT適用指導を担当。商品企画部長として戦略情報システム、オープンシステム、マルチメディア化、パーソナル化の商品化を中心に商品化担当。
 - 1994年、株式会社昭文社専務取締役役に就任し、地区のITメディア商品を開発。
 - 1998年、株式会社資産工学研究所を設立。「サクセス考動マネジメントシステム」を開発し、「見える化」の「ナレッジファシリテーション技法」をキーテクノロジーに、企業の「サクセス考動マネジメント」のコンサルティングを展開中。顧客として、日本銀行、三菱東京UFJ銀行、野村證券、東京海上日動火災保険、NTT、富士通、トヨタ自動車等の大企業と、先進的ベンチャー企業等、300社以上の実績。
- 2006年、金沢工業大学大学院客員教授就任。



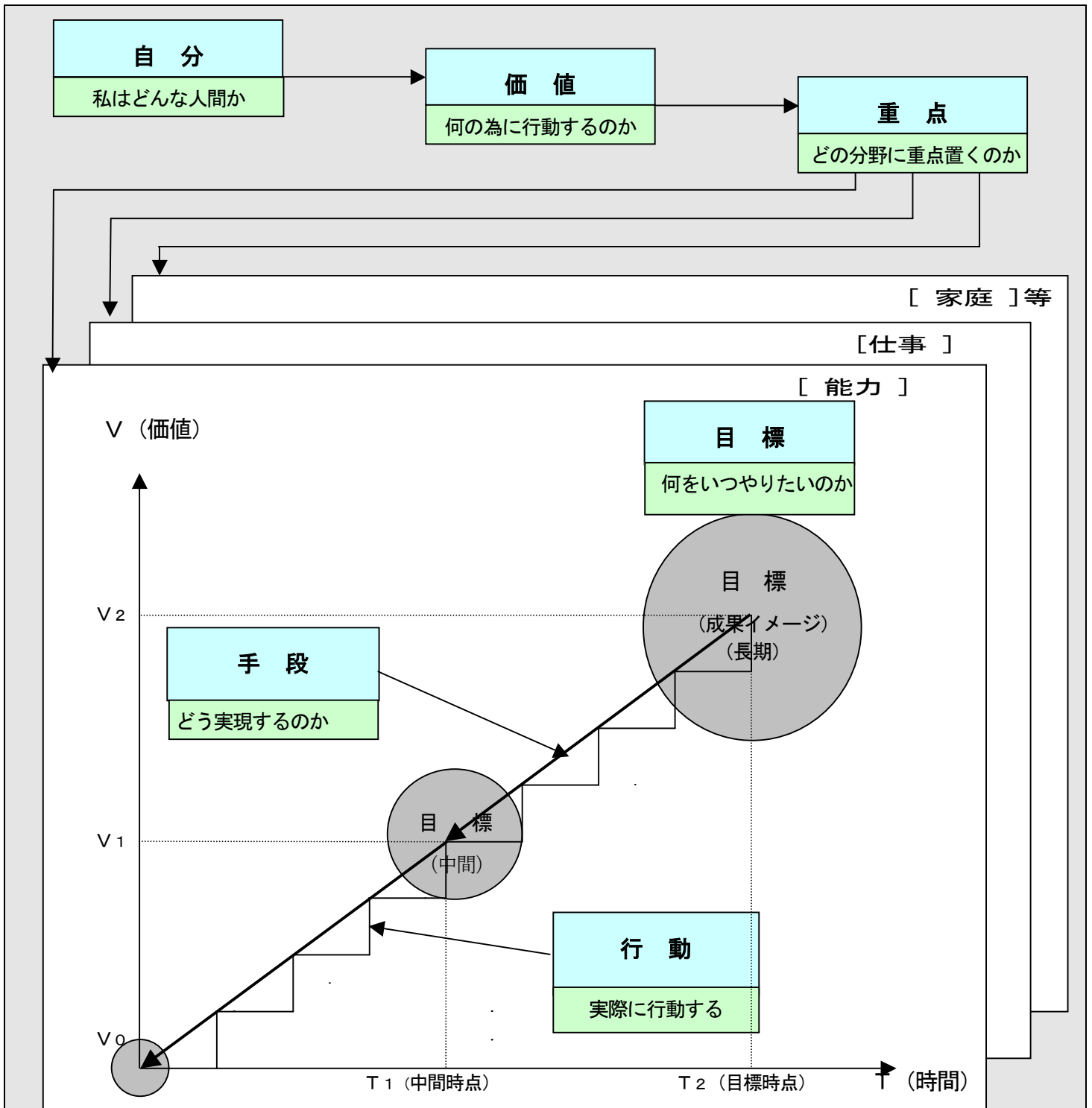
参加申込み用紙

(ご紹介者名:)

氏名		会社名	
メール		参加日	<input type="checkbox"/> 3月4日(日)、 <input type="checkbox"/> 3月11日(日)

FAX:03-5213-4679にお送りください。

人生のフレームワーク



自分	・「自分はどんな人間か」という「自分のアイデンティティ (ID)」であり、自分の特質を特定する属性を分かりやすく説明する。
価値	・「自分は何のために生まれたのか」「何に価値を置いて活動するのか」「使命」「価値観」「行動指針」であり人生の「価値前提」である。
重点	・上記基本方針に基づいて「各年代でどの分野を重点的にやるのか」という長期方針を立てる。分野には「人物」「仕事」「家庭」「家計」「交際」「趣味」「友人」「貢献」「健康」等がある。
目標	・それぞれの分野で長期的なビジョンをまず設定し「何をいつやりたいのか」をビジョンに基づいて具体的に中期・短期別に設定する。
手段	・上記達成目標を具体的に実現するために、どのようにアプローチすればよいかのシナリオを作成する。それを実現するためにべきことを「長期的な活動」から「今日一日の活動」にまで具体化する。
行動	・上記シナリオに沿って具体的に日々実践行動することである。「継続は力なり」で、とにかく自分を信じて情熱を持って行動し続ける。